教科 音楽 学年 第1学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	E	単元のまとまりの評価規準	
** ***		0##1#####	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
うたって うごいて みんなで おんがく	8	構造との関わり、曲想と歌詞 の表す情景や気持ちとの関わ りに気付くとともに、思いに 合った表現をするために必要	りに気付いている。	それらの働きが生み出すよさ や面白さを感じ取りながら、 聴き取ったことと感じ取った	ら、主体的・協働的に学習活動
はくと リズム	7	〇曲想とリ明からなど身のいさとりの構造との関わりやいたいでは、 の構造との関わりの様といりの様の特別につ面くとをすいたと、 思いにつった、 を関いいたので、 など見いいたので、 など見いいたので、 など見いいたので、 など見いいたので、 など見いいたので、 など見いいたので、 など見いいたので、 など見いいたので、 など見いいたので、 などすやせる。 などすやせる。 などすいた。 などはだいた。 ないたいたにでいて、 ないたいたでもないただにでいて、 ないたいたが、 ないたいたでもないたが、 ないたいたでもないたが、 ないたいたいたでは、 ないたいたいたいたのは、 ないまないたが、 ないまないまないまないたが、 ないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	りの様々ならがきせて、 を表して、 で表現を生まないの は、 を表して、 は、 に、 を表して、 は、 に、 に、 を表して、 は、 に、 に、 で表現するたと、 は、 に、 に、 を表現するたと、 は、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	それらの働きが生みなが取りが もいるさを感じとといる を感じとと感いて表現りで を感じとといる もいるであり、 をいるでも、 をしるでも、 をしるでも、 をしるでも、 をしるでも、 をしるでも、 をしるでも、 をしるでも、 をしるを とっと。 をしる。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっと。 とっ	拍に合わせていろいろなり式なのったりで表現で表現であることや歌音をある。 学習に異味がら、主体的・協働的に対する 学ので表現に取り組もうとしている。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 うた〉 「うみ」(共通教材)	2	構造との関わり、曲想と歌詞 の表す情景や気持ちとの関わ りに気表とともに、思いに 合った表現をするために必要 な、自分の歌声及び発音に気	構造との関わり、曲想と歌詞 の表す情景や気持ちとの関わ	れらの働きが生み出すよさを 感じ取りながら、聴き取った と感じ取ったことと感じいて考え、曲想 が切って表現を工夫し、 じ取って表現を工夫し、	情景や気持ちを歌で表すことに 興味をもち、音楽活動を楽しみ ながら、主体的・協働的に学習 活動に取り組もうとしている。

どれみと なかよし	14	との関わりに気付くととも に、音高を体などで表現する 活動などを通して、階名で模	との関わりに気付いている。 〇音高を体などで表現する活	き取り、それらの働きが生み 出すよさを感じ取りながら、 聴き取ったことと感じ取った	〇階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
くこんにちは けんぱんハー モニカ〉	2	奏の仕方との関わりに気付くとともに、鍵盤ハーモニカの扱い方や鍵盤の位置、息のつかい方など基礎的な演奏技能や、思いに合った表現をするために必要な、リズム譜など	奏の仕方との関わりに気付い ている。 〇鍵盤ハーモニカの扱い方や 鍵盤の位置、裏を対したのかい、思い がある。 のでは、現実技能や、思い が、思い。 と基礎的な演奏技能を見て演 をして表して でな、リズム譜など付けてい 奏する技能を身に付けてい	聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、 聴き取っての関わせるにしい 取ったことと いにて考え、 曲に合って演奏する、 どのように演奏する	〇鍵盤ハーモニカで様々な表現 をすることに興味をもち、音楽 活動を楽しみながら、主体的・ 協働的に学習活動に取り組もう としている。
うたの もりあがり	2	との関わり、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに、思いにつた表現をするために必要なにもならならでいまする技能や、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌	の関わり、曲想と歌詞の表す 情景や気持ちとの関わりに気 付いている。	その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったとと感じ取ったことと想を感じ取てきた、曲とを感けいて表現をエ夫しいにつま現を表まし、どのように歌うかについて思いを	歌詞の表す情景を想像すること や、旋律の特徴を捉えることに 興味をもち、音楽活動を楽しみ ながら、主体的・協働的に学習 活動に取り組もうとしている。

ねいろと つよさ	けたきとをを ・ と想しに音音楽に がが生や強力、たと現しに音音楽に がが生や強力、たと現しに音音を がが生や強力、たいりだか。 ・ ともを ・ ともを ・ ともを ・ ともを ・ ともを ・ ともを ・ とも ・ とも	方の特徴に向して、そと思くと思くさいて、とと思く音でいて、とと思く音でいて、とと思く音でいたり、楽の付いたなど、出て、いまでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは、ままでは	それらの働きが生みりますがった。 もいまないますがまりいますがまりませい。 を感じとと感いてそいますがますがますがますがます。 まないますがますがますがますがますがます。 まないますがますがますがますがますがますがますがますがます。 まないますがますがますがますがますがますがますがますがますがますがますがますがますがま	様々に試しながら打楽器の音の 特徴を見付ける学習などに興味 をもち、音楽活動を楽しみなが ら、主体的・協働的に学習活動 に取り組んでいる。
うたで まねっこ	な気をいます。 このでは、 一大き感にしたいった。 一大きな気をあるが、 このでは、 かくない、 このでは、 かくない、 かくない、 このでは、 かくない、 このでは、 かくない、 このでは、 かくのでは、 からのでは、 から	曲想と、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりにえないでいる。 はいに合った表現をするために必要な、互いの歌声やむて歌ったを聴いて声をつわせて歌っなり、拍に合わせてリズム表現でする技能を身に付けている。	などを聴き取り、その働きがじ 生み出すよさや聴き取った関わ 取りばないないないである。 と感じい考えとも について考現を工夫し 取って表現を工夫し、どのよ	主体的・協働的に学習活動に取
〈おとの スケッチ〉 ねこの なきごえで あそぼう	かけとこたえなど音楽の構造 との関わりについて気付くと ともに、発想を生かした表 をするために必要な、設定し た条件に基づいて、即興的に	曲想と、音色や強弱、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりについて気付いている。 る。発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選んだりってまりして表現する技能を身に付けている。	えなどを聴き取り、それらののさが生み出すよさ、まながなります。 それらもった いった いった いった いった いった いった いった いった いった い	いろいろな声で表現することに 興味をもち、音楽活動を楽しみ ながら、主体的・協働的に学習 活動に取り組もうとしている。

おんがくの ながれ	3	との関わりに気付いている。	とこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや 美しさを感じ取りながら、聴	曲想を感じ取ったり、音楽が表 している情景を想像して聴いた りする学習に興味をもち、音楽 活動を楽しみながら、主体的・ 協働的に学習活動に取り組もう としている。
〈めざせ がっきめいじん〉 「すずめが ちゅん」	りや、ふさわしいアーティ キュレーションに気付くとさ もに、思いに合った表現をす るために必要な、範奏を聴し たり、リズム譜などを見たり	や、ふさわしいアーティもる。 とレーションに気付いているため、 思いに合った表現をするため、 に必要な、範奏を現をいたり、演 は必要なな、 は必要なながで見たりしている。 を表する技能を身に付けている。 を表する技能を身に付けている。	生み出すよさや面白さを感じ 取りながら、聴き取ったこと と感じ取ったこととの関わり について考え、歌詞や曲想に	楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、 主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
みんなの おんがく	造との関わりやリズムのつなげ方や重ね方の特徴に気付くとともに、思いに合った表をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わ	は、との関わりに気付いている。 の関わりに気現をする大きでいる。ため表し、 に必要な、互いのでは、方の歌声や伴うなでは、 を聴い、音楽の仕組くるといる。 の能単な音楽をつくる。 に付けている。	生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととの関わりについて考え、歌詞や世想についた表現を工夫し、どのよ	楽器を演奏したり音を聴き合ったりすることを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈おとの スケッチ〉 ほしの おんがくを つくろう	が生み出す面白さなどと関れらせて気付くとともに、発想を生かした表現された条型で、設定された条件に表づいてない。即興的に音を選んだり、できた旋律を友達とつな	が生み出すいる。 と関わずる条件では、	が生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音をにしていくかについて思いをもっている。	

数科 音楽 学年 第2学年

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	fro=th ++ 4+	単元のまとまりの評価規準	
[巻頭教材]	随時	〇曲想と旋律やリズムなど 意想と を でき を で	と歌詞の表す情景や気持ちと、の関わりに気持くとを持ちくといいた。ないた表現をするために必要な、がらい声をもわせいがあるため、あれたのでは、からい、からい、からい、からい、からい、からい、からい、からい、からい、からい	それらの働きが生み出すよなを感じ取りながら、 聴き取ったことと感じ取ったことのといて考え、 曲想をじ取って表現を工夫し、 のように歌うかについて思い	主体的に学習に取り組む態度 〇歌に合わせてリズムを打つこ とに興味をもち、音楽活動を楽 しみながら、主体的、音楽 で習活動に取り組み、音楽 好する心情を育んでいる。
[スキルアップ]	毎時	徴に、それらが生み出す面白 さなどと関わらせて気付くと ともに、発想を生かした表現 をするために必要な、設定し た条件に基づいて、即興的に	徴に、それらが生み出す面白となどと関わらせて気付えたと、気を見からせてした表生ともに、発想を生かした表現とをするために必要な、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。	数、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさ、 あらのもを感じ取りながら、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるできない。 でいて考え、 でいて考え、 でいて考え、 でいて考え、	○手拍子で様々な表現をするを 習に異なる。 音楽活動を実 に異なが動に取ります。 は身の回り の様々な音楽に親しんでい の様々な音や音楽に親しんでい る。
強さと はやさ	7	かけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴い	との関わりや、抽想と歌詞の 情景や気持ちと思いに に気付くともに、思いに に合った表現歌声や伴奏を聴い で、声を合わせて歌う技能を 身に付けている。	たえなどを聴き取り、それら白をおされません。例動きが生み出すよう、聴たことを応じ取った。では、いまないの関わりについて考え、まり、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	呼びがけとこたえを捉えて歌ったり聴いたりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、遊び歌に親しんで

はくや ドレミと なかよし	7	造との関わりや、曲想と歌詞付 の表す情景と、例関わせいにした。 を現た、発想をときないでいた。 を現たためにづいつない情なに を選んだりでない。 が、間がいる。 は唱したりでは、 は唱し演奏したりする。 は関するリッズる技能を 見て演奏したりする。 は関する は関する。 は関する。 は関する。 は関する。 は関する は関する は関する は関する は関する は関する は関する は関する	造との関わり、曲想と歌詞付たとの関わり、曲想と歌詞付わりの関わりに気した。 しか 明わをと要ない できない できない できない できない できない できない できない でき	の働きが生みない。 は主さな、聴たことではいいたが、 を感じ取りと感じ取するが、 ないではないでする。 ないではないでする。 ないではないでする。 ないではないでする。 ないではないでする。 ないではないでする。 ないについて思いをもっていていていていていていていていていていていないで、 ないについて思いをもっないについていまいをもっないについて思いをないについて思いをないにないない。	○歌に強ない。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ できる。 ・ にない。 ・
〈音の スケッチ〉	3	つなげ方の特徴に、それらが 生み出す面白さなどと関わら せて気付くとともに、思いに 合った表現をするために必要 な、音楽の仕組みを用いて	つなげ方の特徴に、それらが 生み出す面白さなどと関わら	取り、それらの働きが生み出 すようなや面白さを感じ取りば がらないまさとの関わりに音 がらったことのように音楽 て考え、どのように音楽	

〔めざせ 楽き名人〕	每時	の関わりに気付くとともに、 「指くぐり」「指またぎ」の 奏法や、思いに合った表現を するために必要な、範奏や伴 奏を聴いたり、リズム譜など を見たりして演奏する技能を	の関わりに気付くとともに、、 「指くぐり」「指またぎ」の 奏法や、思いに合った表奏 表を聴いために必な、	取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じとと感じない。 がいったこととの関わりにこととの関わりにて考え、地想を感じ取って表え、	○ドレミで歌ったり演奏したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しんでいる。
きょくに 合った 歌い方	4	関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に	の構造との関わりや、曲想と 歌詞の表す情景との 関わりに気付くともに、思 いに合った表現をするために 必要な、自分の歌声及び発音 に気を付けて歌う技能を身に 付けている。	り、それらの働きが生み出す よさや面白さを感じ取りなが ら、聴き取ったことと感じ 取ったこととの関わりについ て考え、出想を感じ取って表	〇曲想を成体や音色活体を正夫 ・
〈音の スケッチ〉	2	に、それらの生み出す面白さ	に、それらの生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。	弱などを聴き取り、それらの 働きが生み出すよさや面白さ を感じ取りながら、聴き取っ	的・協働的に学習活動に取り組 み、生活の中の様々な音に親し

音色と リズム	4	との関わりに気付くととも に、思いに合った表現をする ために必要な、音色に気を付	との関わりに気付くととも に、思いに合った表現をする ために必要な、音色に気を付	り、その面白さを感じ取りな がら、聴き取ったことと感じ	○楽器の音色やリズムに興味を もち、音楽活動を楽しみなが ら、音体的・協働的に学習活動 に取り組み、いろいろな打楽器 に親しんでいる。
くにっぽんのうた みんなのうた〉	2	との関わりや、曲想と歌詞の 表す情景や気持ちとの関わり に気付くとともに、思いに 合った表現をするために必要 な、自分の歌声及び発音に気	表す情景や気持ちとの関わり に気付くとともに、思いに	り、その働きが生み出すよさった際じ取りながら、聴きとを感じ取りながった。 を感ことと感じ取ったことと思じ取った関わりについて考え、曲想とでいて表現を工夫し、ど	○歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しんでいる。
〔めざせ 楽き名人〕	毎時	構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、 移動などの奏法や、思いに 合った表現をするために必奏を な、階名で模唱したり範奏を	構造との関わりや、曲想と歌 詞の表す情景や気持ちとの関	き取り、その働きが生み出す よさを感じ取りながら、聴き を感じ取りながら、 を感じ取りながら、 との関わりにつる現で を感じ取って表え、 も 想を感じ取って 表現を工と し、 どのように演奏するかに	ら、主体的・協働的に学習活動 に取り組み、鍵盤楽器やドイツ

おまつりの 音楽	3	るために必要な、互いの歌声 る や伴奏を聴いて、声を合わせ ヤ	寺ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けてい	り、それらの働きが生み出す よさを感じ取りながら、聴き 取ったことと感じ取ったこと	もち、音楽活動を楽しみなが ら、主体的・協働的に学習活動 に取り組み、お祭りの音楽に親
〈音の スケッチ〉	3	定した条件に基づいて、即興 り 的に音を選んだりつないだり 的 して表現する技能を身に付け し	方の特徴に、それらが生み出 す面白さなどと関わらせて気 すくとともに、思いに合った 長現をするために必要な、 設定した条件に基づいて、即興 内に音を選んだりつないだり	きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴きとのにないたこと感じ取りながらったこ、簡単のはいてきたとの関リなりにつくることを通してきるとを通してきるとを通していることを通していることを通りないます。	つくることに興味をもち、音楽 活動を楽しみながら、主体的・ 協働的に学習活動に取り組み、 和太鼓による音楽に親しんでい

音楽の ながれ	2	○曲想と与いた。 一との自然を 一との自然を 一との自然を 一との自然を 一との自然を 一との自然を 一との自然を 一との自然を 一との自然を 一との自然を 一との自然を 一との自然を 一との自然を 一との自然を 一との主 一との主 一との主 一との主 一を 一のも 一との主 一のも 一のも 一のも 一のも 一のも 一のも 一のも 一のも	〇曲想と音色など音楽の構造 との関わりに気付いている。	どを聴き取り、それらの働き が生み出すよさや面白さを感	〇音楽の構造に興味をもち、音 楽活動を楽しみながら、主体 的・協働的に学習活動に取り組 み、標題音楽やオーケストラの 響きに親しんでいる。
くりかえしと かさなり	3	の構造との関わりや、曲想と 歌詞の表す情景との関わりに 気付くとともに、思いに合っ た表現をするために必要な、 互いの声や楽器の音を聴き、	の構造との関わりや、曲想と 歌詞の表す情景との関わりに 気付くとともに、思いに合っ	どを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白取ったの い取りながら、聴こととの に取りながったこととの はしいでする。 はこし、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	〇曲想を感じ取って表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽 しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱奏に親しんでいる。
みんなの 音楽	4	構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気持ちと、思いい合った表現をするため、医ない、 互いの歌声や伴奏を聴	構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴	き取り、それらの働きが生み 出すよさや面白さを感じ取り ながら、聴き取ったことと感 じ取ったこととの関わりにつ	〇曲想を感じ取って歌ったり聴いたりますることに興味をもち、 音楽活動を楽しみながら、取りますることに現味をも主体的・協会といるできませい。 日本経験を出かして生活を は、 日本経験をあるものにしよう とする態度を養っている。

〈にっぽんのうた みんなのうた〉		との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに必った表現をするために必ずな、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能や、階名で模	との関わりや、曲想と歌詞の 表す情景や気持ちとの関わり	働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととの関感じ取ったこ、出想を感じ取ったことの関感じ取って表現を工夫し、といって表現を工夫し、いをもって歌うかについて思いをもって	〇歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しんでいる。
〈音の スケッチ〉	4	らが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用い	らが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために	弱などを聴き取り、それらの 働きが生み出すよさや面白さ を感じ取りながら、聴き取っ たことと感じ取ったこととの	〇音型を組み合わせて音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽の縦と横との関係に親しんでいる。
〔クリスマス ソングを 歌お う〕	1	との関わりや、曲想と歌詞の 表す情景や気持ちとの関わり に気付くとともに、思いに必 合った表現をするために必要 な、互いの声や伴奏を聴い	表す情景や気持ちとの関わり に気付くとともに、思いに 合った表現をするために必要	り、それらの生み出すよさや 面白さを感じ取りながら、聴 き取ったことと感じ取ったこ ととの関わりについて考え 曲の楽しさを見いだして聴い	〇曲想や、歌詞と旋律との関わりを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、季節や行事に関わる歌に親しんでいる。

教科 音楽 学年 第3学年

単元名	哈粉	単元の到達目標(小単元のねらい)		単元のまとまりの評価規準	·
平儿石	u寸 対	干ルの判廷口係(小半ルのねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「春の小川」(共通教材)	2	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりに気付く。 〇呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌う技能を身に付ける。 〇旋律の流れやそのまとまり を聴き取り、それらの働きが	律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌行の内容と明めいにいる。 の呼吸を発音の仕方に気を付けて、も分の声の特徴に気がある。 くとを大切にしながらで、自然で無理のない歌がらで、自然で無理のない歌がらで、自然で無理のない歌がらで、自然で無理のない歌がある。	やそのまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、出の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや	○「春の小川」の歌詞や曲想を 生かした表現に興味をもち、友 達と歌声を合わせて歌う活動を 楽しみながら、主体的・協働的 に学習活動に取り組もうとして いる。
楽ふとドレミ	7	造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたりハ長調の楽譜を	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現を するために必要な、範唱を いたりハ長調の楽譜を見たり して歌う技能を身に付けてい	き取り、それらの働きが生み 出すよさや面白さを感じ取り ながら、曲の特徴を扱う 現を工夫し、どのように歌う かについて思いや意図をもっ	
(にっぽんのうた みんなのうた) 「茶つみ」 (共通教材)	2	楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴い	楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 〇思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌 声や伴奏を聴いて、声を合わせ作表の方法を見いる。	聴き取り、その働きが生み出すよいである。 すよいでであるでは、 がらいでは、 できない関わりについて がったこととでして できる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	〇歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

〈こんにちは リコーダー〉	4	仕方との関わりに気付くと表 もに、思いや意図に気合った。 思いや意図に必要、 ないるためを付け音を想を必要を を聴いて音を想を生要 ないのでは、 を想を生ま現した。 を想を生まれている。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	る。 〇思いや意図に合った表現を	りよからない。 それらしな、とない。 それらしな、とない。 を美いの働きが白さな感じない。 もないでは、たった関係をいいでは、 たった表表するかにりて、 に変図をあからいてコーダー に変図をもいたともいいでは、 に変図をもいたがあります。 の演奏のよさを見いいです。	〇リコーダーで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
ひびきのある歌声	5	との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気に合った。 思いや意図を受えている。 現をするため方にのない。 現をするためにのない。 現をするため方に、 なび発音理のない歌い方で見自然で無理のない歌い表調の付けを で歌う技能や、れる身になどを の旋律、ではなどを いたりを	することに興味をもち、主体 り・協働的・協働的声や もち、動に取に を楽しみながら習活動できる にからできる。 しつ思いや意図に合った要ながらが を無のといいででは、 でいるないでは、 でいるないでは、 でいるでいるでいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでいるでは、 でいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるでいるで	き取り、それらの働きが生み 出すよさや美しさ、聴き取らされる 感じ取ったがした。聴き取り について考え工夫し、 を捉えた表現を工夫し、 とのように歌うかについて思い	○旋律の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈音のスケッチ〉 いろいろな声で表げんしよう		らの組み合わせの特徴、 があいますで、 で、たったの生み出らせながした。 で、たったとと発想をするためではなどに、 表現とするためではいるといるとした条件にしたを関したといるといるにでいます。 では、 を関した条件にしたを選りして、 とした条件にしたを選りして表現とするにといるといるといるといるといる。	らの組み合わせの特徴による げ方、やかした表出では、 でいさなる。 の発想を生かした表現した声の の発想を生がした。 の発想を生がした。 の発想を生ない、即興的に声の に基を にとする。 によう定りして表現する や出っていて、 に表した。 のも出って、 にもして、 ともして、 ともして、 にもして、 ともし、 ともして、 ともし、 ともし、 ともし、 ともし、 ともし、 ともし、 ともし、 ともし	弱などを聴き取り、それらが 生み出すよさや面白なを感じ 取りながら、聴き取の関わる と感じいて考え、 について考えして音楽づく することを通して音楽づく	〇いろいろな声で表現すること に興味をもち、音楽活動を楽し みながら、主体的・協働的に学 習活動に取り組もうとしてい る。

〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「うさぎ」 (共通教材)	2	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりに気付くとと もに、思いや意図に合った表 現をするために必要な、呼吸 や発音の仕方に気を付けて、	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりに気付いている。 思いや意図に合った表現をを るために必要な、呼吸や発 の仕方に気を付けて、自然で 無理のない歌い方で歌う技能	働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととの関かたこととの関例を足について表まる。 も、世の特徴を捉になった。との関のといて表現を工夫し、どのようである。 からかについて思いや意図を いる。	〇季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
せんりつと音色	3		の構造との関わりに気付いて	どを聴き取り、それらの働き が生み出すよさや美しさを感	○旋律の変化を捉えて演奏を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
曲に合った歌い方	3	構造との関わりや、曲想と歌 詞の内容との関わりに気付く とともに、思いや意図に合っ た表現をするために必要な、 互いの歌声や伴奏を聴いて、 声を合わせて歌う技能や、楽	構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 〇思いや意図に合った表現をするために必いで、五まの一方を表現をするために必要なて、案器で副分せて歌らわたりに変する大統と、楽器で副次に依律を演奏する技能を身に	化などを聴き取り、それののの 働きが生み出すよさたことり 関いながもの、聴きなの関わりない で考え、、由の特徴をように それるである。 で表現を工力し、どのも同じない 歌うかについて思いや意図を 歌うかについて思いや意図を	〇曲想を生かして表現する学習 に興味をもち、音楽活動を楽し みながら、主体的・協働的に学 習活動に取り組もうとしてい る。

くにっぽんのうた みんなのうた〉 うた〉 「ふじ山」(共通教材)	2	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりに気付くとも もに、思いや意図に合った表 現をするために必要な、呼吸 及び発音の仕方、姿勢に気を 付け、自然で無理のない歌い	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりに気付いてい る。 〇思いや意図に合った表現を するために必要な、呼吸及付 け、自然で無理のない歌い で歌う技能を身に付けてい る。	り、それらの働きが生み出す よさを感じ取りながら、聴き 取ったことと感じ取ったった。 との関わりについて考え、夫 の特徴を捉えた表現を工夫 し、どのように歌うかについ	○歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
日本と世界の音楽	7	造との関わりに気付くととも に、思いや意図に合った表現 をするために必要な、互かの 歌声や件をきまり、体を動かした り、演奏したりする技能を身 に付ける。	の構造との関わりに気付いて いる。 思いや意図に合った表現をす るために必要な、互いの歌て や伴奏を聴き、声を合わせて 歌ったり楽器を演奏したり体 を動かしたりする技能を身に 付けている。	呼びかけとこたえ、音の重なのなどを聴き取りなどを聴き取りよう、その直の自動を感じなを聴き取りよう。たこ、とのはいてまたのでは、いたのは、いたのは、いたのは、いたのは、いたのは、いたのは、いたのは、いたの	〇日本や世界の歌を聴いたり、 体を動かしながら表現したりす ることに興味をもち、音体 のながら、主体的・ を楽しみながら、 学習活動に取り組もうとし ている。
〈音のスケッチ〉 ばんそうに合わせてせんりつ をつくろう「雪のおどり」	3	との関わりに気付くととも に、 発想を生かした表現を するために必要な、設定され た条件に基づいて、伴奏を聴 きながら即興的に音を選択し	の関わりに気付いている。 発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件 に基づいて、伴奏を聴きながい に助興的に音を選択したり、 リレーしたりして表現する技	係、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すさを感じ取りながら、 まないまなでことと感じ取ったことの関わりについて考え、	

〈物語の音楽を楽しもう〉 「ピーターとおおかみ」	2		の構造との関わりに気付いている。	どを聴き取り、それらの働き が生み出すよさや美しさ、面	○物語を音楽で表していること に興味をもち、音楽活動を楽し みながら、主体的・協働的に学 習活動に取り組もうとしてい る。
パートの役わり	4	の構造との関わりに気付くと ともに、思いや意図に合った 表現をするために必要な、互 いの楽器の音を聴き、音を合	の構造との関わりに気付いている。 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器 の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けてい	なりなどを聴き取り、それら の働きが生み出すよさや面白 さを感じ取りながら、聴き 取ったことと感じ取ったこと	〇曲想を感じ取って聴く学習に 興味をもち、音楽活動を楽しみ ながら、主体的・協働的に学習 活動に取り組もうとしている。
〈めざせ 楽き名人〉 「あくびのうた」 「冬さん、さようなら」	2	仕方との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、 ・響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴き、音	仕方との関わりに気付いている。 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響き るために必要な、音色や響き に気を付けて演奏する技能 や、互いの音を聴き、音を合 わせて演奏する技能を身に付 けている。	たえ、音の重なりなどを聴き出ない。それらいさが取り、されらいるを感じとと感じなられていない。 たい まい かい でい かい でい	〇リコーダーの響きや声部の役 関味を生かして表現するを楽しみな 大音楽活動をによる。 は、音楽活動をにいる。 はいいる。

音楽のききどころ	3	〇曲想と旋りを 中音りに変いる。 を放けない。 を変のさいて、 をいまして、 のでを聴き出がないて、 のでをでいてだし、 のででが、 のででが、 のででが、 のででが、 のででが、 のででが、 のででです。 のででです。 のででです。 のででです。 のででです。 のででです。 のででです。 のででできる。 のででは、 のででできる。 のででは、 のででは、 のででできる。 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででできる。 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででできる。 のででは、 のでは、 のでは、 のでは、 のいる。 のいる。 のい。 のいる。 のい。 のい。 のいる。 のい。 のい。 のい。 のい。 のい。 のい。 のい。 のい	の構造との関わりに気付いている。	どを聴き取り、それらの働き が生み出すよさや美しさを感	○楽器の音色や曲の流れを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽 活動を楽しみながら、主体的・ 活動的に学習活動に取り組もう としている。
思いに合った表げん	5	の構造との関わりや、曲想と 歌詞の内容との関わりに気付 くとともに、思いや意図に 合った表現をするために必要 な、互いの歌声や伴奏を聴い	の構造との関わりや、曲想と 歌詞の内容との関わりに気付 いている。 思いや意図に合った表現をす るために必要な、互いの歌音 もや伴奏を聴いて、声や音を合 わせて演奏する技能を身に付 けている。	などを聴き取り、それらの働り きが生み出すよさを感じ取ら ながなら、聴きととの関かりにいてった。、 しいてきた。他の特徴を捉えた との関でなった。 表現を工夫し、どのように演	〇声部の役割を意識して演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈音のスケッチ〉 音のひびきや組み合わせを楽 しもう	2	の組合せの特徴について、そされが生み出すよさ気付くと関わらせて気た表現と関わらせて気に表現と関わる生かい設定した表現に基づいたので、即自かせたり、知られては、対して表現する技能を身に付けて表現する技能を身に付け	れらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いてい	り、それらの働きが生み出すり よさや面白さなどを感じ取り ながい、聴きととの関わりにつる いなったこ、即興的に表現すり ことを通して、音楽づくりの	〇音の響きや組合せを生かして 表現することに興味をもち、主 体的・協働的に音楽づくりの学 習に取り組もうとしている。

教科 音楽 学年 第4学年

出二々	1土米	出去の列達日標(小出二のねこ)		単元のまとまりの評価規準	<u> </u>
単元名	呼釵	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
くにっぽんのうた みんなのうた) 「さくら さくら」 (共通教材) 図さくら変そう曲	5	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりに気付くとと もに、思いや意図に合った表 現をするために必要な、呼吸 及び発音に気を付けて、自然	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりに気付いてい る。 思いや意図に合った表現をす るために必要な、呼吸及で発見 音に気を付けて、自然で無身 のない歌い方で歌う技能を身 のない歌い方で歌う技能を身	変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよったことを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととのようについて考え、とのように歌いないない。	〇日本のうたをもとにした音楽 に興味をもち、音楽活動を楽し みながら、主体的・協働的に学 習活動に取り組もうとしてい る。
はくとせんりつ	6	構もにきない声を付き出聴こ、夫い曲りす活い組にと表い声を付き出聴こ、夫い曲りす活な音楽のできる前にの取りを含めていませい。 では、いまりでは、いまりでは、ないまりでは、ないまりでは、ないまりでは、ないまりでは、ないました。 では、ないました。 では、ないました。 では、ないました。 では、ないました。 では、ないました。 では、ないまない。 では、ないまないまない。 では、ないまないまない。 では、ないまないまない。 では、ないまないまない。 では、ないまないまない。 では、ないまないまない。 では、ないまないまない。 では、ないまないまない。 では、ないまないまないまない。 では、ないまないまない。 では、ないまないまない。 では、ないまないまない。 では、ないまないまない。 では、ないまないまない。 では、ないまないまない。 では、ないまないまない。 では、ないまないまないまないまないまないまない。 しょうないまないまないまないまないまないまない。 しょうないまないまないまないまないまないまないまないまないまない。 しょうないまないまないまないまないまないまない。 しょうないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	構造との関わりに気付いている。 る。 いや意図になる、互いの歌からに必要な、互下をできないでは、 できないできないできないできない。 できないできないできないできない。 できないできないできないできない。 できないできないでする。 できないでは、 できないでは、 できないでは、 できないでいます。 できないでいます。 できないでいます。 できないでいます。 できないでいます。 できないでいます。 できないでいます。 できないでいます。 できないでいます。 できないでいます。 できないできないでいます。 できないできないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできないできない。 できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	取り、それらの働きが生み、それらののした。これらののできたった時間では、おいまでは、いまないでは、いまないでは、いまないでは、いいまないでは、といった。これでは、いいないでき、これでは、いいないである。	
ひびきのある歌声	4	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりに気付くとと もに、思いや意図に合った表 現をするために必要な、互い の歌声や副次的旋律、伴奏を	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりに気付いてい	り、それらの働きが生み出すがよさや面白さを感じ取りない。 映き取ったことと感じ取りにつまたことと感じない。 いったまえ、歌声や旋律のよさや楽しさを見いだしてミュージ	〇いろいろな歌声を聴くことに 興味をもち、音楽活動を楽活動を ながら、主体的・協働的に学習 活動に取り組もうとしている。

(にっぽんのうた みんなのうた) 「まきばの朝」 (共通教材)	2	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりに気付くとと もに、思いや意図に合った表 現をするために必要な、互い の歌声や伴奏を聴き、声を合	との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 〇思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌 声や伴奏を聴き、声を合わせて歌う技能を身に付けてい	働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったこととの関わりに取ったこととの関わりにでいて考え、 曲の特徴を打た表現を工夫し、どのように	○歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈音のスケッチ〉 音の動き方を生かしてせんり つをつくろう	4	て面く大きでは、	いている。	り、それらの働きが生み出せが よさや面白さを感じ取り感じ ら、聴き取との関わりについて またことと感じいて考え、即興的に表現するの発 とを通して、音楽づくりの発	〇音の動き方を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「もみじ」(共通教材)	4	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりに気付くと表 もに、思いや意図に合った表 現をするために必要な、互の の歌声や副次的な旋律、伴奏 を聴いて、声を合わせて歌う	との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 〇思いや意図に合った表現の事もなために必要な、互いの聴声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能	係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取り感じない。 がち、聴き取ったこととにいる。 で考え、曲の特を捉えたまり、となる。 現を工夫し、どのように歌う	〇歌詞や曲想、声部の役割を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

曲に合った歌い方	4	との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸発音に気を付けて、自然で無	との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 思いや意図に合った表現発するために必要な、呼吸や発音 に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身にない歌い方で歌う技能を	らの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったととの関いながら、たこととの関いして考え、出し、どのよりにつた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意	〇曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽し のはいら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしてい
かけ合いと重なり	3		など音楽の構造との関わりに 気付いている。	音の重なり、旋律、反復、変化を聴き取り、それらの働きのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ	〇音色、呼びかけとこたえ、音の重なり、旋律、反復、変化をきなり、旋律、反復 動きのよいを感じ取りを感じ取ったがら、これを表したことを感じ取ったことの関わりについて考え、曲のようを見いだし、曲全体を味わって聴いている。
日本と世界の音楽	6	楽の構造との関わりに気に合く とともに、思いた意見をといるに表現を音に、思いか意図に要なた表現を音では、要ないがはいかにいるにない。 がで無理のない。 技能ものに、ないで、表現と生かした表定とない。 技能もないが、とない。 をを作いと述い、は、からかけた 音を選択したり組みかせた。	楽の構造との関わりに気付い を	聴き取り、それらの含までは、 それらのさまでは、 それの自されるでは、 をいまないでは、 をいるでは、 をいるでは、 をいるでは、 をいるでは、 をいるがいるが、 をいるが、 をいるが、 をいるが、 をいるが、 をいるが、 をいるが、 をいるが、 でいるが、 とが、 とが、 とが、 とが、 とが、 とが、 とが、 とが、 とが、 と	〇我が国や諸外国に伝わるいろいろなの特徴や、冬をは、人々の名の特徴や、人をもちまらしとの関わずいのでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次

(音のスケッチ) 音階をもとにして 音楽をつくろう	4	ついて、それらの生み出すと 気付きなにと関わらせか 気付を見した、発想をなる した表現をするために基づい した表現をする作品が必要 て、即興的に手を選したり 組み合わせたりして表現する		り、それらの働きが生み出す まさや。違いを感じ取りな感じ ・ でいるというでいる ・ でいる ・ でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる でいる	〇音階をもとにして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に 学習活動に取り組もうとしている。
《いろいろな歌声を楽しも う》 歌げき「魔笛」から	4		○曲想と、歌声や旋律など音 楽の構造との関わりに気付い ている。	り、それらの働きが生み出す よさや美しさ、面白さを感じ 取りながら、聴き取ったこと	〇いろいろな歌声の特徴を捉えて音楽を聴く立とに興味をもち、音楽を聴く立とに興味をもまいます。 主体的・協動的に学習活動に取り組もうとしている。
パートの役わり	3	の構造との関わりに気付くと ともに、思いや意図に合った 表現をするために必要な、音 色に気を付け、互いの音を聴	の構造との関わりに気付いている。 思いや意図に合った表現をするために必要な、音色に気音 付け、互いの音を聴いて、音 を合わせて演奏する技能を身	の関係などを聴き取り、それ らの働きが生み出すよら、も も も 立った し い の 関 い り な い ち に し い る に と と 感 じ い て 、 こ こ と と と し い る り る り る り る り る り る り る り る り る り る	〇曲想や声部の役割を生かして 表現することに興味をもち、音 表活動を楽しみ容がら、主体 的・協働的にみ習 もうとしている。

音楽のききどころ	3	○曲想とを使うできます。 一曲想とを使うできます。 一の構造と、速を動き感じとと、できませる。 一の構造と、速を動き感じとと、できませます。 一のできます。 一のできまます。 一のできます。 一のできます。 一のできます。 一のできます。 一のできます。 一のできます。 一のできまます。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできます。 一のできまする。 一のできまする。 一のできます。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできままする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまする。 一のできまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	〇曲想と旋律や音色など音楽 の構造との関わりに気付いて いる。	強弱、速度などを聴き取り、 それらの働きが生み出すよさ	〇曲想とその変化を捉えて聴く 学習に興味をもち、音楽活動を 楽しみながら、主体的・協働的 に学習活動に取り組もうとして いる。
思いに合った表げん 選択B 歌唱	2	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりに気付くとと もに、思いや意図に合った表 現をするために必要な、互い	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりに気付いてい る。 思いや意図に合った表現をす るために必要な、互いの歌声 や伴奏を聴き、声を合わせて	どを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴きとと問じとと感じ取ったことのはでったことのいて考え、曲の特徴を	〇声を合わせて歌うことに興味をもち条準活習を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
(音のスケッチ) 役わりをもとに音楽をつくろ う	4	重ね方の特徴について、それ らの生み出すよさや面白さ 関わらせて気付くとともに、 音楽の仕組みを用いて音楽。 つくる技能を身に付ける。 つフレーズ、呼びがけとこた え、音楽の縦と横との関係と	重ね方の特徴について、合れ らの生み出すまさや面白さい 関わらせて気けないれる。 〇発想を生かした表現をたた に必要な、設定された ために必要な、即興かに音り 選択したり組み合わした で表現する技能を身に付けて で表現する技能を身に付けて	え、音楽の縦と、横との関係働きを時き取りされている。 できまりりされている いまい いまい いまい いまい いまい いまい いまい いまい としい こという でき はい いまとまい を 意識している まとまい を 意識している まとまい を 意識していまとまい を 意識していまとまい を 意識していまとまい を 意識していまとまい を 意識していまとまり を 意識していまとまり を 意識していまとまり を 意味 ひまた いまとまり を 意味 ひまた いまとまり を 意味 ひまた いまた いまた いまた は れいまた いまた は れいまた いまた いまた は れいまた いまた は れいまた いまた いまた いまた いまた いまた いまた いまた いまた いまた	

₩ = 4	n± */-	※二の別法ロ標(小※二のねこい)		単元のまとまりの評価規準	[
単元名	呼奴	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
《にっぽんのうた みんなのうた》 「こいのぼり」(共通教材)	2	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりについて理解 するとともに、思いか高に必要 た表現をするために必要 な、呼吸や発音の仕方に気を 付けて、自然で無理のない、	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりについて理解 している。 〇思いや意図に合った表現を するために必要な、呼吸や発 音の仕方に気を付けて、ある歌 で無理のない、響きのあい い方で歌う技能を身に付け	聴き取り、それらの生み出すがら、ないではないではないではないではないではないではないではないでは、またことはいいでは、また、世の特徴にないようでは、まないできる。または、これがいる。または、これがは、これがいる。ないでは、これがいる。とれば、これがいる。とれば、これがいる。とれば、これがいる。とれば、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが	〇歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・ 協働的に学習活動に取り組もう としている。
和音や低音のはたらき	4	響きなど音楽の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調	響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。 〇思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の 楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けてい	どを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについ	〇和音や低音の働きに興味をも ち、音楽活動を楽しみながら、 主体的・協働的に学習活動に取 り組もうとしている。
〈音のスケッチ〉 和音に合わせてせんりつをつ くろう	2	のつなげ方の特徴について、 それらの生み出すよさや面白 さなどと関わらせて理解する とともに、思いや意図にみ た表現をするために必要な、	律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。 の思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技	き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じととのでいる。、聴き取りながら、しているではいったこととでいて考え、音を音楽へと構成	〇和音と旋律との関わりや、和音に合わせて旋律をである。 音に合わせて旋律を活動を楽し に興味をもち、音楽活動を楽し みながら、主体的・協働的に学 習活動に取り組もうとしてい る。

アンサンブルのみりょく〈合唱〉	6	音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声	音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりにで理解している。 ついて理解して重なる。響きないと 合業の関わりや、由 想と歌詞の内容との関わりや、由 想と歌詞の内容との関わりに	との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさ、 もしさを感じ取りながら、 美しなをたことと感じ取った。 ととの関わりについて考え、	〇いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちで工夫して表現することに興味をもち、主体的・協働を楽しみる活動に取り組もうとしている。
アンサンブルのみりょく 〈オーケストラ〉	3				〇曲想と楽器群の響きなど音楽 の構造との関わりについて理解 している。
くにっぽんのうた みんなのうた〉 うた〉 「赤とんぽ」	1	との関わり、曲想と歌詞の 内容との関わりについて理解 するとともに、思いい意図に 合った表現をするために必要 な、呼吸及び発音に気を付け て、自然で無理のない、響き	容との関わりについて理解し ている。	り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについ	ち、音楽活動を楽しみながら、 主体的・協働的に学習活動に取

パートの役わり	72	の関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要なた事部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わ	の関わりや、曲想と歌詞の内 容との関わりについて理解している。 思いや意図に合った表現をす るために必要な、各声部の奏を もの音や全体の響き、大学を 聴いて、音を合わせて演奏を 聴いて、音を合わせて演奏を	横との関係などを聴き取り、 それらのよさなどを感じとと ながら、聴き取っの関わり で取ったこととの関わりい いて考え、曲の特徴にいった	〇曲の特徴にふさわしい表現を することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協 働的に学習活動に取り組もうと している。
日本の音楽	4	楽の構造との関わりについて 理解するとともに、思いや意 図に合った表現をするために 必要な、呼吸及び発音に気を 付けて歌う技能を身に付け	楽の構造との関わりについて 理解している。 〇思いや意図に合った表現を するために必要な、呼吸及び	働きが生み出すよさや面白さ を感じ取りながら、聴き取っ	や、人々の暮らしとの関わりに ついて興味をもち、音楽活動を 楽しみながら、主体的・協働的 に学習活動に取り組もうとして
豊かな表現	4	構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについまいやに 理解するとと表現をするとも現と、まいの意 理のに合った表現をするのが表示の仕方 に気を付けて、自然で無理の ない、響きのある歌い方で歌 う技能を身に付ける。	詞の内容との関わりについて 理解している。	それらの働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴きないと感じ取りながらなったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、をエつけ後にふさうに歌う切にいまいか意図をもっていいて思いや意図をもってい	〇曲の特徴にふさわしい表現を する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協 働的に学習活動に取り組もうと している。

(音のスケッチ) いろいろな声で音楽をつくろ う	2	○多様な声の響きやそれらの 組合せの特徴について、されらの生み出すよさや面白さと 関わらせて理解するととも に、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を 選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 ○音色、音の重なり、強弱な どを聴き取り、その面白さんの発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を 地に表現が多る技能を身に付ける。 ○音色、音の重なり、強弱などを聴き取り、その面白さを が、協働的に学習活動に取り組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 ○音色、音の重なり、強弱などを聴き取り、その面白さを で表現する技能を身に付ける。 ○音色、音の重なり、強弱などを聴き取り、その面白さを で変さいて、即興的に声を 選択したり組み合わせたりして、表現する技能を身に付けている。 ○音色、音の重なり、強弱などのより組み合わせたりして、表現する技能を身に付けている。 ○音色、音の重なり、強弱などのより組み合わせたりして、表現する技能を身に付けている。 ○音色、音の重なり、強弱などを聴き取り、その高いに対して、シートのよりに基づいて、シートのよりに基づいて思いる。 ○音を表記して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて考え、現まのと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったことと感じ取ったこととのよりに表現を発起を得たり、どのより組み合かせたりしている。 ○音楽活動を楽さり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについる。 ○音楽音楽をつくるかについて考え、表現を通さを持たり、で表現する正とに見味をもち、音楽音楽をした音楽音楽をした音楽音楽をした音楽音楽を見ないで表現を得ないで表現を得ないで表現を得ないであります。 ○音色、音楽音楽音楽音楽音楽音楽音楽音楽音楽音楽音楽音楽音楽音楽音楽音楽音楽音楽音	E E
くにっぽんのうた みんなのうた〉 「スキーの歌」(共通教材)	2	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解していて理解していて理解は多いについて理解は多いにのいて理解はなどもに、思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いてき、は、リズム、反復、変化を体の響き、伴奏を聴いて歌う技能を身に付ける。 ○旋律、リズム、反復、変化などを聴き取り、そのよったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、さ、伴奏を聴い取りながら、聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴に必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いないが意図をもったいる。 ○旋律、リズム、反復、変化などを聴き取り、そのよったで歌う技能を身に付けている。 ○応律、リズム、反復、変化などを聴き取り、そのよったで歌う技能を身に付けている。 ○応律、リズム、反復、変化などを聴き取り、そのように歌うかについて思いや意図をもったことと感じ取ったことととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	h h
音楽のききどころ	3	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりについて理解する。 ○曲想と旋律など音楽の構造したの関わりについて理解する。 ○位徒・反復、変化、呼びかけとこたえなどを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴く。 ○曲の特徴を見いだしながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 ○曲の特徴を見いだしながら、聴き取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 ○曲の特徴を見いだしながら、ま体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	h h

思いをこめた表現 選択A 器楽	りについて理解するととも に、思いや意図に合った表現 をするために必要な、各声部 の音や全体の響きを聴いて、	を合わせて演奏する技能を身に付けている。	を聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わ	〇音を合わせて演奏することに 興味をもち、音楽活動を楽しみ ながら、1年間の学習を生かし て、主体的・協働的に学習活動 に取り組もうとしている。
〈音のスケッチ〉 ずれの音楽を楽しもう	や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解するとと表に、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の		の関係などを聴き取りり、そのようでも言うできるというのはないできるというのである。 たいしょ でんがい しょう でんしょ でんしょ でんしょ でんしょ でんしょ でんしょ でんしょ でんしょ	〇リズムのずれの面白さを生か して表現することに興味をも ち、音楽にみながら、 主体的・協働的に学習活動に取 り組もうとしている。
《変奏曲を楽しもう》 ピアノ五重そう曲「ます」第 4楽章から		の構造との関わりについて理 解している。	係、変化などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさ	○変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

教科 音楽 学年 第6学年

単元名	吐米	単元の到達目標(小単元のねらい)		単元のまとまりの評価規準	
	,.,,		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
くにっぽんのうた みんなのうた〉 「おぽろ月夜」(共通教材)	3	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりについて理解 することもに、思いめに必らな った表現をするために必ち な、呼吸及び発音の仕方に気 を付けて、自然で無理のな	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりについて理解 している。 〇思いや意図に合った表現を するために必要な、呼吸及り 発音の仕方に気を付けて、自 然で無理のない、響きのあ る歌い方で歌う技能を身に付	り、それらの働きが生み出す よさを感じ取りながら、聴き 取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、を との関わりにかしい表現とこ曲 大し、どのように歌うかにい たして思いや意図をもってい	〇歌詞や旋律の特徴を生かして 表現することに興味をもち、音 案活動を集しみながら、主体 的・協働的に学習活動に取り組 もうとしている。
短調のひびき	3	の関わりについて理解すると ともに、思いや意図に合った 表現をするために必要な、ハ 長調やイ短調の楽譜を見て、	の関わりについて理解している。 〇思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調や イ短調の楽譜を見て、歌った り演奏したりする技能を身に	を聴き取り、それらの働きが 生み出すよさを感じ取りなが ら、聴き取ったことと感じ 取ったこととの関わりについ	○長調と短調の響きの違いに興 味をもち、音楽活動を楽しみな がら、主体的・協働的に学習活 動に取り組もうとしている。
アンサンブルのみりょく	5	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりについて理解 するとともに、思いや意図に った表現をするために必 な、各声部の歌声や伴奏、全	との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。 〇思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部歌声や伴奏、全体の響きを聴きながら歌う技能を身に付け	係などを聴き取り、それらし 働きが生み出すよさや美が は、できないな感じ取りな感じ いた、聴きこととりな感じ いるできないでいる。 いるでは、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 いるでも、 とっと もっと もっと もっと もっと もっと もっと もっと もっと もっと	○演奏者の思いを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動 くことに興味をもち、音楽活動 を楽しみながら、主体的・協働 的に学習活動に取り組もうとし ている。

(音のスケッチ) 言葉をもとにリズムで遊ぼう	5	の特徴について、それらが生 み出すよさや面白さなどと関 わらせて理解するととも、 思いや意図に合った表現を るために必要な、音楽の仕者 みを用いて、音楽をつくる技	の特徴について、それらが生 み出すよさや面白さなどと関 わらせて理解している。 〇思いや意図に合った表現を するために必要な、音楽の仕 組みを用いて、音楽をつくる 技能を身に付けている。	聴き取り、それらの働きが生 み出すよさ、いまさいではない。 りながら、たことをこととに 感じ取ったたことを音楽へとは でいて考え、、音を音楽へと構	〇言葉をもとにしてリズムで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 われは海の子(共通教材)	2	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりについて理解 するとともに、思いや意との 合った表現をするために必要 な、呼吸や発音の仕方に気を 付けて、自然で無理のない、	内容との関わりについて理解している。	り、それらの働きが生み出す よさを感じ取りながら、聴き 取ったことと感じ取ったこと との関わりについて考え、 との関わりにいき、現 大し、どのように歌う功に いて思いや意図をもってい	○歌詞や曲の特徴を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

せん律のひびき合い	4	いて理解するとともに、思い や意図に合った表現をするために必要な、各声部や全体の 響きを聴きながら演奏する技	ど音楽の構造との関わりについて理解している。 〇思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部や	を聴き取り、それらの働きが 生み出すよさや美しさを感じ 取りながあ、曲の特徴にふる わしい表現を工夫し、ど うに演奏するかについて思い	〇旋律の重なりや響きを味わい ながら表現することに興味をも ち、音楽活動を楽しみながら、 主体的・協働的に学習活動に取 り組もうとしている。
〈ジャズとクラシック音楽の 出合い〉 ラブソディー イン ブルー	3	音楽の構造との関わりについ	音楽の構造との関わりについ て理解している。	かけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出す	○ジャズとクラシックが融合した音楽に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。
音楽のききどころ	3	の構造との関わりについて理	の構造との関わりについて理解している。	係などを聴き取り、そのよさ や美しさ、面白さを感じ取り ながら、聴き取ったことと感	○楽器同士の関わり合いや、曲 の特徴を捉えて聴くことに興味 をもち、音楽活動を楽しみなが ら、主体的・協働的に学習活動 に取り組もうとしている。

豊かな表現 選択A 歌唱	3	の構造との関わりや、曲想と 歌詞の内容との関わりについ で理解するとともに、訳 窓図に合った表現をする、るため に必要な、各声部や全体の響 き、伴奏を聴き、声を合わせ	りや、曲想と歌詞の内容との 関わりについて理解してい る。 〇思いや意図に合った表現を するために必要な、各声き、 すを体の響き、任奏を聴き、声 を合わせて歌う技能を身に付	係などを聴き取り、それらののさいが生み出すよさ、悪さが生み出すように、これでいてもいてまた。 たこ、 曲の間のいて表現を応じないのもいに、 はいいに、 はいいいに、 はいいにいいに、 はいいに、 はいいに、 はいいにいいにいいに、 はいいにいいにいいにいいにいいに、 はいいにいいにいいいにいいにいいにいいにいいにいいいにいいにいいにいいにいいにい	〇声部の役割や、曲の特徴を生かして表現することに興味をもた。 かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、 主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
《音のスケッチ》 じゅんかんコードをもとにア ドリブで遊ぼう	2	和音や旋律のつなげ方の特徴 について、それらの生み出す よさや面白さなどと関わらせ て理解するとともに、発想を 生かした表現をするために必 要な、設定した条件に基づい	和音や旋律のつなげ方の特徴 について、それらの生み出す よさや面白さなどと関わらせ て理解している。	き取り、それらの働きが生み、というでは、これのでは、これがいるないでは、これがいるでは、これがいる。 これがいる これがい これがいる これがい これがいる これがらいる これがらい これがらいる これがらい これ	〇和音と旋律との関わりや、繰り返す和音進行をもとに即興的に表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
世界の音楽	4	楽の構造との関わりについて 理解するとともに、思いや意 図に合った表現をするために 必要な、各声部の声や音、全 体の響き、伴奏を聴いて、声	楽の構造との関わりについて 理解している。 〇思いや意図に合った表現を するために必要な、各件事条 をもた。全体の響きかせて、 下、声や音を合わせて、 奏する技能を身に付けてい	働きが生み出すよさや面白さ を感じ取りながら、聴き取っ たことと感じ取ったこととの 関わりについて考え、曲の特	や、それらと人々の暮らしとの 関わりについて興味をもち、音 楽活動を楽しみながら、主体 的・協働的に学習活動に取り組

日本の音楽	4	の構造との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響	の構造との関わりについて理解している。 〇思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を響きのある歌い 理のない、を響きのある歌いで歌う技能を身に付けてい	どを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴きととのにとと とと感じ取ったこと 出のよさりについて考え、曲のよさを	〇我が国に伝わる音楽や楽器に 興味をもち、音楽活動を楽しみ ながら、主体的・協働的に学習 活動に取り組もうとしている。
思いをこめた表現 選択A 「ふるさと」+器楽	3	との関わりや、曲想と歌詞の 内容との関わりについて理解 するとともに、思いや意に 合った表現をするために必要 な、各声部や全体の響き、保 奏を聴いて、声を合わせて歌 う技能を身に付ける。	内容との関わりについて理解 している。 ○思いや意図に合った表現を するために必要な、各声部や	り、それらのよさを感じ取り ながら、聴き取ったこととと じ取ったこととの関わりいる いて考え、曲の特徴につわ しい表現を工夫し、どのより に演奏するかについて思いや	〇曲想を捉えて表現することに 興味をもち、音楽活動を楽しみ ながら、1年間の学習を生かし て、主体的・協働的に学習活動 に取り組もうとしている。
(音のスケッチ) 役割を決めて音階を もとにした音楽を つくろう	4	方や重ね方の特徴を、合さなとも の生み出すよなや面白さととを と関わらなせて理解する表現を に、発想を生変ない るために必ず、即興せにも るために がいないの合わせたり 選択したきなり で表現する技能や で表現する技能や	方や重ね方の特徴を、それら の生み出すよさや面白たいる と関わらせて主理解したをなるため 発想を生かした表現とした条想 がに必いて、設定した条と選 したりして条り したりして条り したりして条り したりして表現のにからして、 がにがいる。	係などが生み出する。 動きが生み出する。 ををことりにありながら、たたい、 ではいて音楽づくとのでは、 ではいて音楽づくどの。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	○役割や音階の面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。